

山の事故を防ごう



夏から秋に向けての山登りを安全に楽しみましょう！

登山が好きな方はもうそろそろ秋の山登りを考えはじめているのではないのでしょうか？

そこで気を付けて欲しいのは、山岳遭難事故での「道迷い」です。

予定とは違う道に進んでしまったり、道ではない場所へ入りこんでしまったら、いったん行動を中断し、落ち着いて対処を考えましょう。

「このまま進めば目的地に着くはず」といった思いこみは深刻な事態を招きます。歩きつづけるうちにさらに状況が悪化しかねません。

コースの誤りに気づき、進んできた道が判別できる状況なら、地図で確認できる地点までもどることが第一。もしヤブなどに入りこんでしまったら、できる限り安全なルートを探りながら尾根上へ向かって登ります。見通しのきく地点まで登れば、周囲の地形から現在地を把握しやすく、解決の糸口も見えてきます。また、下るほうが楽だからと、安易に下ってしまうと、滝や急流に阻まれ、進退きわまってしまう、または足を踏み外して転落・滑落事故を起こしてしまうことがあります。沢へ下るのは危険だと認識しておきましょう。もちろん、道迷いを起こさないためには、出かける前にコースを調べ、地図を必ず携行して歩き、行動中はこまめに地図を開いて位置確認をしながら歩く習慣をつけることが大切です

「山で命を守る鉄則です」

もし、山岳遭難した場合には、速やかに携帯電話の電波状況が良い場所から、110番、あるいは119番に通報をしましょう。山岳遭難ですと警察・消防へ通報を行い、GPS情報を伝え、その場所から、移動は行わないようにしましょう。

また、家族・友達に連絡してしまうと、バッテリーが消耗するので余計な電話をかけないようにしましょう。

「無理せず、動かず、救助を待ちましょう！！」



粕屋北部消防本部
警防課警防係
電話 (092) 944-0132